



2024～2025年度 山形東ロータリークラブ会報

第1631回例会 2024年9月6日(金)

点鐘／12:30 S.A.A.／工藤 裕史

ロータリーソング/国歌、四つのテスト 会場/ホテルメトロポリタン山形

Rotary
第2800地区



RIテーマ RI会長:ステファニー A アーチック
ロータリーのマジック

地区目標 ガバナー:芳賀 康雄
ロータリーにもっと誇りをそじて学びDEIの心を持って行動実践しよう

クラブテーマ 会長:深瀬 俊路 幹事:菅生 勝則
「シン・ロータリークラブ ピア・ロータリアン ハブ・ロータリー」

会長挨拶



深瀬会長挨拶

9月は、菊月とも呼ばれます。食用菊を用いた料理は山形以外ではあまり食べられないとのこと。食卓で菊を目にするようになるのが9月なのかもしれません。

7日は「白露」です。この白露は、夜中に大気が冷えて、早朝に草木の先や花に露を結び、白く輝いて見え始める頃のこと、露が白濁

したように見えるため、山形の某菓子店の「ふうき豆」にも冠されていることから、みなさんも想像がつくのではないのでしょうか。

日中の暑さも和らぎはじめ、だんだんと秋が深まっていくことを意味しています。旧暦でいうと、今日はまだ8月4日で私の誕生日でもあります。暑いのも当然といえば当然なのかもしれません。

今日は、山形市上下水道部次長兼総務課長の秋場浩司さんをお招きして卓話をさせていただきます。

当クラブが計画する今年度の財団補助金事業「水源涵養林」の植樹事業に関するお話と承っていますので、会員のみなさんは、その趣旨と意義、また地域社会への貢献度等を学んでいただきたいと思います。

先月の地区会員増強委員長の赤塚さんの卓話にもありましたが、ロータリアンは「学ぶ」機会と姿勢を常に忘れてはならない、ということが基本です。まさにロータリーの目的に賛同することにより、みなさんは、入会されロータリアンになったということを併せて思い起こしていただきたいと思います。

9月には、もう一つ別名があります。それは、寝覚月です。由来は、「恋の行く末などをあれこれと思わずらうと、どうしても眠りが浅くなり、夜中に目をさましてしまう」からだそうです。私はクラブ運営や理事会の乗り切り方を思案すると朝がやって来てしまいます。

また「長月」という名称もあります。夜が長くなったことで、暗いうちに目が覚めてしまうという説もあります。当クラブでは、別に9月でなくても、夜中に目が覚めてトイレに駆け込む会員も多いかもしれませんが、秋の夜長を有効に活用するようなスケジュールをそれぞれが考えてみていただくことを希望いたします。

幹事報告



菅生幹事報告

本日の会員出席者数15名になります。ゲスト卓話者として、山形市上下水道部次長、秋場浩司様をお迎えして、今年度補助金申請事業として計画しております「水源涵養林への植樹事業」として、山形市水源涵養林の現状と今後の計画などの卓話をしていただきます。

ゲスト卓話



秋場浩司氏

山形市上下水道部次長(兼)総務課長の秋場浩司氏に県道宝沢防原線水源涵養林についてお話いただきました。

今年度の地区補助金事業にて水源地の植樹を予定しておりますので、それに合わせてお話いただきました。



ニコニコBOX

荻野武好・白田真人・菅生勝則・深瀬俊路・吉田安伸

出席情報

	会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日	28名	—	14名	—